

## 平成 30 年度 体力等調査の結果について

平成 30 年度に実施された体力等調査の結果について、杉並区立小・中学校の結果を報告する。

### 1 平成 30 年度実施の体力等調査の概要

実施	東京都教育委員会
名称	平成 30 年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査（東京都統一体力テスト）
目的	・児童・生徒の体力が低下している状況に鑑み、東京都の児童・生徒の体力・運動能力及び生活・運動習慣等の実態を把握・分析することにより、児童・生徒の体力・運動能力等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、これらの取組を通じて、学校における児童・生徒の体力・運動能力等の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
対象 (方式)	・都内公立学校の全児童・生徒 ・対象の全児童・生徒（悉皆）
調査内容	ア 児童・生徒に対する調査 ・体力・運動能力に関する調査（新体力テスト） ⇒握力（筋力）、上体起こし（筋力・筋持久力）、長座体前屈（柔軟性）、反復横とび（敏捷性）、20mシャトルラン（全身持久力）もしくは持久走（全身持久力）※1、50m走（スピード及び走能力）、立ち幅とび（瞬発力及び跳能力）、ハンド（ソフト）ボール投げ、（筋パワー（瞬発力）、投能力、及び巧ち性）※2 ※1 小学校は、20mシャトルランを実施する。中学校・高校は、20mシャトルランもしくは持久走（男子1500m・女子1000m）のどちらかを選択して実施する。 ※2 小学校は、ソフトボール投げで、ソフトボール1号球を使用する。中学校・高校は、ハンドボール投げで、ハンドボール2号球を使用する。 ・生活・運動習慣等に関する質問紙調査 イ 学校に対する質問紙調査 ・児童・生徒の体力向上に係る取組に関する質問紙調査
調査時期	平成 30 年 4 月から 6 月までの間

### 2 調査結果の概要

#### (1) 「児童・生徒に対する調査」東京都(公立)との平均値の比較（男子）

杉並区（公立）の小・中学生男子の体力合計点平均値は、小学校の第1・3・5学年を除き、東京都を上回っている。全体としては、東京都の数値とほぼ同値と捉えることができる。

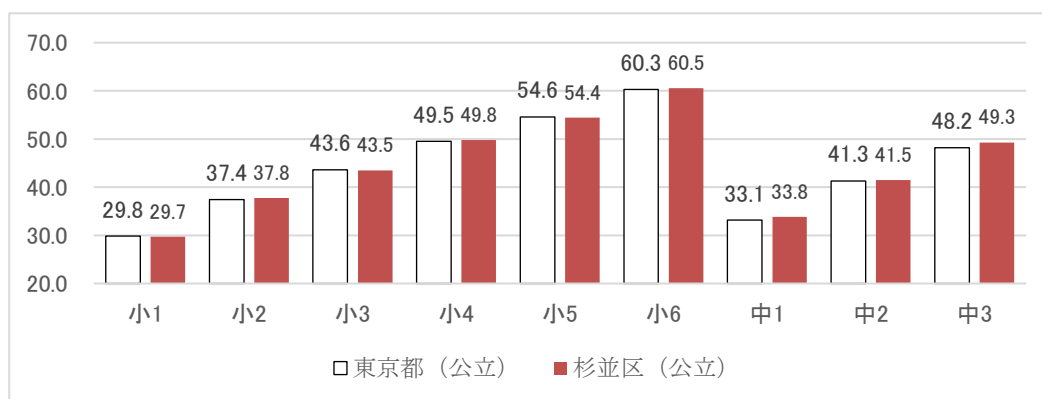


表 1 体力合計点（男子）

## (2) 「児童・生徒に対する調査」東京都(公立)との平均値の比較(女子)

杉並区(公立)の小・中学生女子の体力合計点平均値は、小学校の第1～3学年及び第5学年を除き、東京都を上回っている。全体としては、東京都の数値とほぼ同値と捉えることができる。

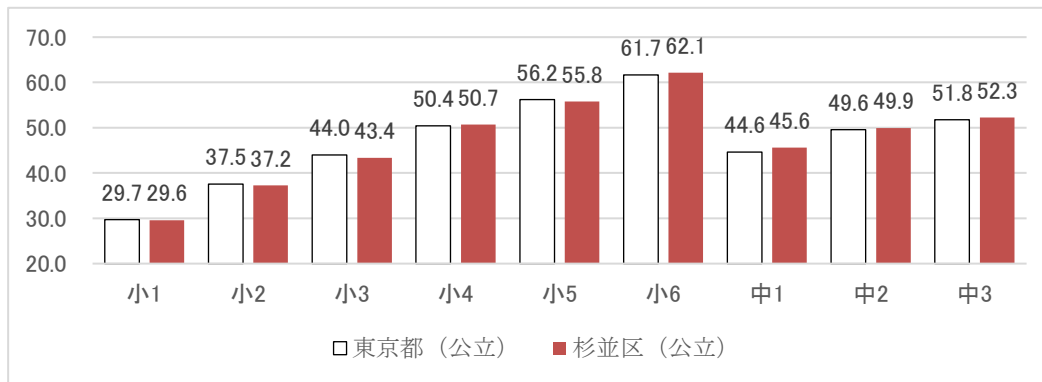


表2 体力合計点(女子)

※小学校と中学校では得点換算方法が変わるため、小学校と比較すると中学校の数値が下がる。

## 3 課題と今後の取組

今回の調査結果を通して、反復横とびや長座体前屈の調査種目において、東京都の平均値を下回り、柔軟性や敏捷性に課題が見られた。(「別紙資料」参照)。今回の課題を含め、バランスよく体力を高めるために、体づくり運動を中心とした体育科の授業に、多様な運動遊びや運動を取り入れるとともに、一校一取組を継続して実施して学校生活における運動の日常化を図る等、体力向上に向けた取組を工夫・改善していく。

また、児童・生徒自らが、自己の体力や健康上の課題解決に向けて、運動習慣や生活習慣の改善を図る実践的な態度を育成するために、学校においては、養護教諭や栄養士、外部人材の専門性を取組に生かすとともに、保護者と連携した食育、健康教育を更に充実させ、総合的な体力の向上を図る。

教育委員会においては、体力づくり教室や長縄グランプリを実施するとともに、全区立学校で実施するオリンピック・パラリンピック教育、体力向上センター校及び杉並教育研究会と連携した授業公開や指導事例資料の情報発信を通して、各学校の体力向上の取組を支援する。